

平成 23 年度予算編成方針のポイント

1 予算編成の基本的な考え方

- ・市税収入は、依然として厳しい雇用情勢や経済情勢の先行きの不安感により、給与所得や営業所得、企業の設備投資等が減少することから、減収となる見込み。
- ・歳出では、公債費が依然として高い水準で推移、対象者の増加に伴い扶助費の増加が見込まれることに加え、多様化する行政サービスの維持・向上に努めながら、北陸新幹線開業後を見据えたまちづくり施策への取り組みが必要。
- ・こうしたことから、限られた財源を有効活用するため、すべての事務事業についてゼロベースで見直し、選択と集中による整理・合理化を進める。
- ・以上の観点から、平成 23 年度予算編成を次により行う。

(1) 重点的・戦略的な市政の推進

- ・幅広い視点で政策分野の戦略を考え、新たな課題に積極的に対応
- ・徹底した議論による施策熟度の向上
政策課題サマーレビューにおいて示された施策の方向性に沿って重点化
各部局における予算要求の検討期間を昨年度に比べ 3 週間以上長く確保

(2) 「全事業総点検による検証」に基づく事務事業の見直しの徹底

- ・前年度当初事業数の 10% 以上の事務事業を見直す。
- ・経常的経費等の前年度当初予算額の 3 % 以上の削減

2 予算の重点事項

(1) 北陸新幹線開業後を見据えたまちづくり施策

北陸新幹線開業を契機とした「都市基盤整備」
新たな産業分野を開拓する「ものづくり・観光戦略」
開町 400 年を機会に再認識された「歴史・文化」
市民生活の根幹をなす「安全・安心」

(2) 「元気高岡」を創造する新規施策

新たな分野での市民協働の取り組み
地域の資源や人材を活かした地域活性化への取り組み
高岡ならではの「エコ」への取り組み